

ISOを知る、伝える、広げる、会報誌

ISONET

center for better living

Vol.98



日本三大瓦の一つ「三州瓦」の老舗メーカー、株式会社神清（愛知県半田市）の瓦（イメージ）

New Year's Message

新年のご挨拶

一般財団法人
ベターリビング システム審査登録センター

上級経営管理者 後藤 隆之／センター長 有馬 正子

ISOで進化する組織紹介

株式会社 神清

生産工程の見える化へ——
「経験と勘」の現場が
ISOの導入で変わる

BL-QE Information

各マネジメントシステム
規格の開発状況

- ISO9001
- ISO14001
- ISO/IEC27001:2013

北から南から

新規登録組織
2013年9月度～11月度
登録組織からのお喜びと抱負の言葉を紹介

Seminar Information

- ・ISO/IEC27001:2013
情報セキュリティマネジメントシステム
規格改正説明会
- ・ISO9001
建築・設計業務を中心とした
品質マネジメントシステム
内部監査員養成研修会

一般財団法人

ベターリビング システム審査登録センター(BL-QE)

新年のご挨拶 *New Year's Message*

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は弊センターをご活用いただき、厚く御礼申し上げます。

本年も倍旧のご愛顧を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



一般財団法人 ベターリビング システム審査登録センター

上級経営管理者 後藤 隆之

飛躍の年へ

リーマンショック以来の世界的な金融危機の影響を受け、長く経済の低迷の時代が続いておりましたが、ようやくこの一年ほどの間に、アベノミクスとも呼ばれる一連の経済政策の実施、2020年の東京オリンピック開催決定、世界的な金融緩和を受けての円安、株高の進行等外部環境の変化に伴い、我が国の経済環境にも幾分明るい兆しが見えてまいりました。登録組織の皆様の中にも、久しぶりに明るい話題の多い年越しをお迎えになったところが多いものと推察いたします。

本年4月からは消費税増税の第一弾が実施され、さらに来年の10月からは第二弾の増税実施を控え、増税前の駆け込み需要とその後に想定される反動減等、なかなか将来予測が難しい状況の中で、各方面への目配りが必要なところではありますが、長いデフレ経済の下で守りの経営を余儀なくされてきた各組織の皆様にとっては、ようやく攻めの経営への転換を目指す環境が整ってきたところではないでしょうか。

登録組織の皆様にとって今年がより一層の飛躍の年となりますことを心からご祈念申し上げます。

ISOマネジメントシステムの活用

経済環境の好転の流れに乗り、各組織が今後の持続的発展を目指すためにも、それぞれの組織が抱える課題を常に意識するとともに、改善に向けての不断努力が必要なものと考えております。ISOマネジメントシステムは、正にそのような各組織の有する課題と解決に向けての取り組みに対し、有効な手段を提供するものであります。各組織におかれは、是非これまで培ってきたマネジメントシステムを有効に活用され、それぞれの有する課題の解決とともに優れた特性の更なる強化に努め、企業価値の向上を図っていただきたいと存じます。

弊センターも及ばずながら、各組織の審査業務を通じて皆様の取り組みをご支援させていただきたいと存じます。これまで弊センターが培ってきたノウハウを活用し、それぞれの組織に求められる審査内容を吟味するとともに、課題解決への道筋をお示しできる審査の実施に向けて最大限の努力をさせていただきます。

情報発信とサービスの向上

弊センターにおきましては、機関紙ISONETを始めとして、WEBページ、メールマガジン等を活用し、登録組織の皆様に常にマネジメントシステムに関わる最新情報を提供するように努めております。一昨年10月にはISO/IEC27001(情報)の規格が改正されたのに続き、今後2015年に向けて、ISO9001(品質)、ISO14001(環境)についても、それぞれの規格の改正が予定されております。その内容の詳細等につきましても随時情報提供を行うとともに、必要に応じ説明会等を開催し、分かりやすく組織の皆様にお伝えする機会も設けさせていただきたいと考えております。

また、常日頃から心がけているところではありますが、審査登録の実施に当たっては、あらかじめ各組織のご要望を承り、それぞれの特性、課題に対応したきめ細やかな審査の実施に注力するなど、より一層のサービスの向上に努めてまいりたいと存じます。

システム審査登録センターでは、引き続き役職員一同一丸となって、登録組織の経営管理の充実、企業価値向上へのお手伝いと、これを通じた社会貢献に努めてまいります。

登録組織の皆様には、引き続き弊センターをご愛顧、ご活用いただきますようお願い申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

ISOの新しい潮流へ

～2015年改正に向かうISO9001・ISO14001～

新春のお喜びを申し上げます。

皆様におかれましては気持ちも新たに新年をお迎えのことと存じます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

昨年を振り返って

昨年の夏は、高知県四万十市で日本国内観測史上最高の41.0度を観測するなど2007年来の40度を超える気温を観測するほどの猛暑の夏となりました。暑さに加えて、山形県方面、山口県や島根県、北東北や北海道等日本のいろいろな地域での豪雨がありました。ほとんど経験のない大雨ではインフラストラクチャーだけでなく人的被害も発生しました。被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。また、気象庁は重大な災害の危険性が著しく高まっている場合に「特別警報」を発令する運用を開始しました。

日本における豪雨の件数は増加傾向にあるとのことですから、我々は何か対策を講じないとならないでしょう。豪雨等による交通網やエネルギー供給の寸断、社屋の倒壊、社員等の安否確認、顧客又は近隣への対応を考えはじめた組織もあるのではないのでしょうか。被害による事業の一時的な停滞は避けられないとしても、組織には予め、そこからの復旧と復興、すなわち万が一の場合の事業継続計画を策定しておくことが求められそうです。

また、秋頃には、ホテルのレストラン等において表示と異なる食材を提供するいわゆるメニュー偽装がありました。メニューを開発する部門と調理部門の連携不備を原因とし謝罪する組織もありましたが、この他にも外食産業の競争の激化、食品流通の構造的な問題、顧客の高級志向への誤った対応等要因はいくつかありそうです。食の偽装が顧客の信頼感の低下を招き事業に影響を及ぼした事例はこれまでも発生しています。このようなことが学ばれていないとしたら、少なくとも事業継続における資材調達リスク評価を怠っていたといえるのではないのでしょうか。

新しいマネジメントシステムへの期待

ISO/IEC27001の2013年版が発行されました。この改正には、マネジメントシステム規格間の整合性を図り、組織の負担を軽減することを目的に、共通的な全体的構造が採用されました。その構造の概略は、組織の状況(外部及び内部の課題の決定、利害関係者の要求事項)、リーダーシップ、計画(リスクアセスメント、リスク対応、目的・実施計画)、支援(資源、コミュニケーション、文書)、運用、パフォーマンス評価(監視、測定、分析、評価、内部監査、マネジメントレビュー)、改善(不適合の是正処置)となっています。

既に、皆様におかれましては、組織の規模の大小を問わず、



一般財団法人 ベターリビング システム審査登録センター

センター長 有馬 正子

事業を進める上でマクロ経済や地域経済、政策の動向、顧客の変化、業界の現状と今後、自社の経営資源の状況、自社の強みや弱み等を考慮した事業計画や年度目標を立てられ、目標の達成度の評価をしていることと思います。

つまり、今回の改正により、経営管理の手法により近づいた皆様の事業の今後に役立つ規格に、より進化したといえるでしょう。事業継続の観点から品質、環境、労働安全衛生、情報セキュリティ等のリスクを同じ考え方をもつツールでアセスメント(評価・管理)できることになるのです。この改正の機会にマネジメントシステム運用の効果を感じて頂けるのではないかと存じます。

消費税増税を含めて経済状況の変動が厳しい中においても、皆様におかれましては事業継続のために日々活動されていることと存じます。私たちも、このマネジメントシステムの改正を機会に審査のための審査ではなく、皆様にとってより有効なものであり続ける努力を継続していく所存でございますので、本年もこれまで以上に愛顧をたまわりたく、何卒よろしくお願いいたします。

生産工程の見える化へ——「経験と勘」の現場がISOの導入で変わる

株式会社 神清

株式会社神清は、愛知県高浜市・半田市を拠点に「三州瓦」の製造・販売を行う老舗の瓦メーカーだ。三州瓦は、粘土を焼成して作る“本物の瓦”のなかでも、島根県の石州瓦や兵庫県の淡路瓦と並ぶ日本三大瓦の一つに数えられる。1868年（慶応4年）に創業し、1958年に神谷清九郎商店を設立。1992年に現社名へ変更した。主要取引先である住宅メーカーのISO導入を見据え、2000年にISO9001の認証を取得した。今回はその運用や取り組みについて、代表取締役の神谷環光氏、製造部部長の斉藤好司氏、生産管理課課長の杉浦正和氏にお話を伺った。

三州瓦の歴史とともに 今、市場は国内外へと広がる

株式会社神清は、西三河地域の愛知県高浜市に本店を置き、隣接する半田市に本社を構える「三州瓦」のメーカーだ。西三河地域は三州瓦の一大産地として知られているが、高浜市・安城市周辺から良い粘土が産出されることや、関東へ物資を運ぶ運搬船の積出港があったことから、江戸時代には瓦生産がはじまっていた。近代にはトヨタ自動車を始めとする製造業が集積する土地柄から、三州瓦の生産も工業化が進み、現在のような全国のマーケットへと拡大していった。

瓦とは、屋根を葺く建材のなかで粘土を焼成して作ったものを指す。表裏を炭素膜で覆う銀色をした「いぶし瓦」や、表面に釉薬を塗った「釉薬瓦」、素焼きの「無釉瓦」などの種類があり、形状によってJ形（和形）、F形（平板形）、S形（スパニッシュ形）に分類される。神清で生産しているのは、J形と呼ばれる和形の瓦だ。

問屋や工務店、施工会社を取引先として、商圏は日本全国に及んでいる。加えて、日本仕様の住宅建設の需要がある海外へも商社を通じて販売している。台湾、フィリピン、インドネシア、マレーシア、ブルネイ、ハワイを含めたアメリカなどでは、“メイド・イン・ジャパン”のクオリティが認められ、また和風デザイン建築の人気もあって、販売実績を重ねている。

また神清では、J形の三州瓦を製造している碧南窯業株式会社やシノゲン瓦工業株式会社と業務提携し、色の統一や製品形状の互換性を高めるなど、生産効率を高める工夫を重ねて、「SKJ」という

三州瓦のブランドを立ち上げている。

「瓦は、焼成品で経年劣化に極めて強く、ほぼメンテナンスフリーで住宅を守る優れた屋根材です。卵と瓦は値段が変わらないといわれ、メーカーとしては厳しい点もありますが、物価の優等生でもあります。しかし、ここ20～30年で住宅取得価格における屋根の占める割合が著しく低下している面もあって、屋根の重要な役割を考えると、安ければ良いという風潮には疑問を感じることもあります」と話す神谷社長。「ただ、皆様の暮らしを支える“陰の力持ち”という存在に成りきり、住まい手に満足していただける製品づくりをしていきたい」と続ける話から、瓦にかける同社の思いが感じ取れる。



代表取締役
神谷 環光 氏

住宅メーカーの ISO導入を見据えて 認証取得を目指す

神清は、2000年にISO9001の認証を取得した。

「住宅メーカーがISOを導入しはじめ、住宅資材の業界でも気運が高まりました。愛知県陶器瓦工業組合に加盟するメーカーでISO認証取得を目指すことになり、4社ほどが集まって勉強会を立ち上げました。このときのコンサルタントからベターリビングを紹介され、ISO認証取得の際にお世話になった次第です。ISOには、日本工業規格（JIS）にはな

い、トレーサビリティなどの管理体制にかかわる内容があることも、取得を目指す際の決め手になりました」と神谷社長。

品質マネジメントシステムの担当部署となる製造部の斉藤部長が、認証取得や更新時のエピソードについて話してくれた。

「JIS認証工場なので品質には自信がありましたし、ISO認証取得の前から社内規格も設けていました。水準を超える製品を作っていたという自負もあります。ただISOでは、原料の受け入れから工程管理、製品検査、出荷といった流れのなかでのシステム運用が求められたので、マニュアルの文書化は大変でした。ベターリビングからサーベイランス等で指摘を受けながら、実情に合致したマネジメントシステムを構築することができました」

ISO9001規格の文章は、はじめのうちは読み解けない内容もあったが、ベターリビングの指摘によって、正しい意味を理解したことも多いという。

「品質水準の向上を目指す当社をサポートしてくれるような審査体制には、感謝しています。同一審査員による連続性のある更新審査によって、前回観察したことを的確に押さえ、さらによくするための審査もありがたかった」

コントロールの難しい 自然素材の粘土。 ISOが品質安定に導いた

屋根施工会社から、「神清の製品は扱いやすい」といわれる。その内容を新入社員でもわかるように数値化することや、業務の目標を数値で表すこと、また

是正措置の明確化などが、品質マネジメントシステムの導入で容易になったという。これにより職人の集団から、社員の誰もが持続的に作業できるメーカーへと進化していった。

「製造のプロセスを、経験と勘の世界から、記録として残し社員が情報共有できるようにすることには意味があります。過去にあったことや繰り返して起こる事柄を把握することで、設備を改良するなど早期の対応が可能になりました」と斉藤部長は話す。



製造部 部長
斉藤 好司 氏

「生産管理では、出荷までの工程をきちっと押さえることになるので、流れが一本通ったという感じです。顧客を意識するウエイトも大きくなりました。苦情処理やアンケート調査なども同様です」と、生産管理課の杉浦課長が話を続けた。



総務部 課長 兼
生産管理課 課長
杉浦 正和 氏

瓦は焼成して作るため、品質の差が出やすい。これまで「焼き物だから」という言い分もなくなかった。しかし、ISOの導入で、いままで以上の高品質な瓦を作り、顧客満足度を向上させるといった体制も整ったという。

研究開発力を活かし 屋根関連の新規分野を開拓

神清は、瓦の製造だけではなく、生産工程や施工時に使われる副資材の研究開発と販売にも力を入れている。同業種や同生産規模の企業と比べて、特許や意匠出願、公募型共同研究開発の採択を多く持っている。産学官連携の新製品開発なども積極的だ。例えば、アスベストが含まれる屋根用新建材に太陽光発電のパネルを取り付ける際、施工時に

アスベストの飛散を防ぐよう湿潤硬化剤を注入しながらドリルで穴を開けることができる副資材を開発した。「DHシステム」という名称で、大手ハウスメーカーでの採用が

決まりつつあるそうだ。また、阪神淡路大震災やその他の震災を受け、大地震においても破損しない屋根瓦を構築するために、愛知県陶器瓦工業組合などの実施する実証実験に積極的に協力している。

「関連分野にかかわる研究開発は当社の強みで、社長室内にチームを作り、新規開発に取り組んでいます。最近開発したのは、既存の瓦を粉碎して作った“焼成しない保水タイル”。冬季に凍る心配があるため、その課題をクリアしなければ国内では難しいですが、暖かい国では販売できるのではないかと考えています。住宅を取り壊した後に廃棄物となる瓦を有効活用し、水はけのいい路面材などとして使ってみたいと思います」と神谷社長は夢を膨らませる。



本社工屋

「住宅建築では、エンドユーザーは屋根よりキッチンやリビングなど日常生活に直結する部分に魅力を感じて家づくりを進める傾向があります。もちろん、家事での使いやすさやデザイン性も重要で楽しさもあります。ただし、いまから30年後はどうでしょうか。日本では、スクラップ・アンド・ビルドの考え方がいまだに根強いですが、低炭素社会を見据えた行動も必要です。例えば、中古住宅の流通をよくすることや、住宅の減価償却をしないという考え方も大事です。将来的には、住宅は長く維持して住み続ける方向に向かうと考えています。屋根を含めた関連分野の研究開発は、これからも広がっていくはずですよ」と意気込む。神清の今後の展開が楽しみです。

■組織概要

創業 : 1868年(慶応4年)
法人設立: 1958年(昭和33年)
資本金 : 1,000万円
代表者 : 代表取締役 神谷環光
本社 : 〒475-0807
愛知県半田市八軒町28番地
従業員 : 65名
事業内容: 三州瓦製造販売および
屋根工事一式

■運用システム

ISO9001:2008

■CORPORATE MESSAGE

- 本当に良いものだけを、こだわりの心でお客さまにお届けしています。
- つねに時代のニーズを見据え、新しい発想の商品開発に努力しています。
- 「人々の住を支える瓦」だから、品質管理には万全の体制で臨んでいます。
- なによりも顧客満足を第一に、迅速・確実・柔軟な対応を心がけています。

■品質方針

1. お客様の満足度向上を目指し、好みを適確にとらえ、誠実で質の高い製品を提供する。
2. 規定された法令及び社内の取り決めを遵守するとともに、QMSの有効性について継続的な改善を推進する。
3. 地域社会との共生を求め、環境問題に対して積極的な取り組みを行う。
4. 社内標準化及び品質管理を推進し、生産体制の改善と品質向上を目指す。

■2013年度 製造部長品質目標

以下の項目別に目標を設定しています。

1. 製品検査での不良率
2. 苦情発生件数
3. 予防処置・改善提案件数のアップ
4. 経費節約、コストダウンの徹底
5. 労働災害
6. 社内標準化の推進

北から 南から

新規登録
組織

■2013年9月度

●ISO 9001:1件 ●ISO 14001:1件 ●ISO/IEC 27001:1件 ●OHSAS 18001:0件

■2013年10月度

●ISO 9001:0件 ●ISO 14001:0件 ●ISO/IEC 27001:0件 ●OHSAS 18001:0件

■2013年11月度

●ISO 9001:3件 ●ISO 14001:1件 ●ISO/IEC 27001:1件 ●OHSAS 18001:1件

詳しくは、ベターリビングホームページをご覧ください。

2013年

9
月
度

ISO 9001 登録組織

登録番号	企業名	所在地	登録内容
Q1515	株式会社 大同機械	東京都墨田区	仮設建築部材のレンタルおよび販売、ワイヤーロープ加工・販売

ISO 14001 登録組織

登録番号	企業名	所在地	登録内容
E418	株式会社 キャプティ・ライブリック	東京都世田谷区	ガス機器販売・施工、ガス機器修理、ガス工事、住宅リフォーム、ガスの開閉栓、ガス設備定期保安点検、検針・ガス料金収納、店口・ショールーム運営

ISO/IEC 27001 登録組織

登録番号	企業名	所在地	登録内容
IS056	株式会社 エアリー 千葉事業所および千葉営業所	千葉県千葉市	・顧客要求に基づく情報システムの設計、開発、保守および運用支援 ・パッケージソフトウェアの設計、開発、保守および運用支援 ・ASPサービスの提供と運用支援 ・IT教育サービス

2013年

11
月
度

ISO 9001 登録組織

登録番号	企業名	所在地	登録内容
Q1516	太建工業 株式会社	神奈川県横浜市	管工事設備の企画・設計・施工
Q1517	株式会社 タワー	神奈川県横浜市	ブランド品リサイクル
Q1518	明建産業 株式会社	兵庫県姫路市	1.機械器具設置工事の施工 2.管工事の施工 3.内装工事の施工

ISO 14001 登録組織

登録番号	企業名	所在地	登録内容
E419	進栄電子 株式会社	三重県松阪市	電気電子応用機器製造

ISO/IEC 27001 登録組織

登録番号	企業名	所在地	登録内容
IS057	株式会社 大洋システムテクノロジー	神奈川県横浜市	・デバイスシステムソリューション(デバイスの受託開発、技術者派遣) ・プロフェッショナルサービス(エンタープライズ系の受託開発、技術者派遣) ・ライフサイエンス(介護業界におけるシステム受託開発) ・ERPソリューション(ERPパッケージの販売、カスタマイズ) ・ソリューションプランナー(ビジネスコンサルティング)

OHSAS 18001 登録組織

登録番号	企業名	所在地	登録内容
OH006	丸福建設 株式会社	鹿児島県鹿児島市	土木構造物及び建築物の施工

BL-QE Information

開発の
流れ

- 予備段階
- 提案段階
- 作成段階 【作業原案 WD】
- 委員会段階【委員会原案 CD】
- 照会段階 【照会原案/国際規格案 DIS】
- 承認段階 【最終国際規格案 FDIS】
- 発行段階 【国際規格 IS】

各マネジメントシステム規格の開発状況

ISO9001の規格改正は国際規格案(DIS)の作成段階に **品質**

ISO9001規格の改正は、ISOの委員会段階での合意が得られ、2013年11月12日より国際規格案(DIS)を作成して各国代表組織に回付され、3ヶ月投票を行う「照会段階」に入ります。その後、最終国際規格案(FDIS)が作成され「承認段階」の投票によって承認されると「発行段階」となり印刷され配布されます。現在のところ国際規格(IS)として発行される予定は、2015年9月とされています。

お喜びと抱負の言葉

2013年9月、11月に、ISO9001・ISO14001・ISO/IEC27001・OHSAS18001の認証登録をされた組織の方々からのお喜びと抱負の言葉をご紹介します。

E418 株式会社 キャプティ・ライブリック

環境負荷の少ない製品の普及と企業活動に努める



代表取締役社長
山東 孝好 様

弊社は、親会社である㈱キャプティと一体となってISO14001の認証をいただいておりますが、このたび業態に合わせた独自の認証を取得いたしました。

東京ガスグループの一員として「エネルギーフロンティア企業」の一翼を担うべく、

従来に増して環境負荷の少ない企業活動に努めるとともに、環境にやさしい高効率型ガス機器や家庭用燃料電池「エネファーム」、太陽光発電などの普及に努めてまいりたいと思っております。

ISO56 株式会社 エアリー

ISMS導入で、顧客の信頼と自社の安心を獲得



代表取締役
山本 成人 様

株式会社エアリーはIT企業ですので、情報セキュリティに関して神経質にならざるを得ません。顧客からの信頼度向上と共に、社員が情報セキュリティのマインドを持ち合わせる事によりシステム作りにおいても、ある程度、情報セキュリティに関する

問題意識をもって「うちではこうしています」的な提案が可能にもなっています。

また、会社としてもISMSを導入し、マネジメントを正しく行っている事で多くの安心を得る事ができるので有意義であると思っています。

OH006 丸福建設 株式会社

品質、環境、OHSAS、ISMS、4規格統合MSの構築を目指す



取締役
前村 好人 様

弊社は創業65年の鹿児島県の建設会社で、特に土木工事の技術力・施工実績は県内トップクラスです。ISOは2000年に9001、2008年に14001を認証取得しています。

この度、念願のOHSAS18001の認証を取得し、全社で達成感を共有しています。

弊社の特徴は、全てのシステムの構築・運用・認証取得を自社独力で成し遂げ、統合MSを経営の道具としてフルに活用していることです。今後、ISMSを加えた4規格統合MSを構築・運用し、システムの継続的改善を更に進めていく所存です。

Q1516 太建工業 株式会社

お客様に感動を与えるソリューションを追求する



代表取締役社長
佐々木 靖太 様

弊社は工場生産プラント配管の企画・設計・施工を得意としており、特に高い品質が要求される食品、飲料工場等において、長年実績を重ね信頼を培ってきました。

ISO9001認証再取得の目的は、社内システムを整備し、外には顧客満足を、内には

経営体質強化・健全化を図り、当社の社会的評価を高める事です。

ISOをツールとして有効活用する事で、常にお客様の立場で最適な品質を創造し、お客様に感動を与えるソリューションを追求して参ります。

ISO14001の規格改正は委員会原案(CD2)について投票を開始 環境

ISO14001規格の改正は、委員会段階で、二回目の委員会原案(CD2)が作成されて、2013年10月23日から3ヶ月間の投票が行われています。この後はISO9001同様で、国際規格案(DIS)が作成され、照会段階の投票を経て、承認段階に進み承認されると発行される事になります。現在のところ国際規格(IS)として発行される予定は、2015年5月から6月とされています。

ISO/IEC27001:2013は2013年10月1日に発行 情報セキュリティ

日本語版JISQ27001は、2014年春発行予定とされています。

規格改正についての情報発信 および説明会開催

一般財団法人ベターリビングシステム審査登録センターでは、規格改正について情報を発信してまいります。来年度は、規格改正の内容が明らかになってきた段階で、規格の内容、新規格への対応についてなど詳しい説明会を各地で開催する予定です。その際は、皆様にご連絡差し上げますので、是非ご参加くださいますようお願い申し上げます。

福岡・鹿児島
開催決定!

ISO/IEC27001:2013 **BL-QE主催**

情報セキュリティマネジメントシステム規格改正説明会

2013年10月1日に ISO/IEC27001 2013年版が発行されました。翻訳版のJISQ27001は、まだ発行されていませんが、BL-QEでは、先行して規格改正についての説明会を開きます。

- 参加費:無料
- 対象:既に取得している組織/これから取得しようと考えている組織

参加者から評価の高い分かりやすい解説テキストを使用

説明会の開催場所と日時

鹿児島

- 開催日時:2014年 2月24日(月) 13:00~16:00
- 開催場所:鹿児島中央ビルディング株式会社 会議室
鹿児島県鹿児島市山之口町1-10

福岡

- 開催日時:2014年 2月25日(火) 13:00~16:00
- 開催場所:公益財団法人 福岡県中小企業振興センター 会議室
福岡県福岡市博多区吉塚本町9-15

ISO9001 **BL-QE主催**

建築・設計業務を中心とした

品質マネジメントシステム内部監査員養成研修会(2日コース)

《建築CPD情報提供制度※における14時間の継続学習制度(CPDS)実績証明書を取得できます》

研修会の内容

- 建築・設計業務に対応するISO9001内部監査員を養成する研修会です。
- 建築業のマネジメントシステムを基に、規格要求事項を解説し、設計部門や建築現場での内部監査、不適合の抽出、是正処置の方法などを解説していきます。
- 演習では、建築業における具体的な事例を基に、改善に役立つ指摘や、是正を考えられる内部監査員として組織ですぐに活躍できる技術を習得していただきます。
- 研修最後のテストで理解度を確認し、一般財団法人 ベターリビング システム審査登録センター「ISO9001内部監査員養成研修 修了証」を授与いたします。

研修会の概要

- 開催日時:2014年 2月19日(水) 9:00~18:00
2014年 2月20日(木) 9:00~18:00
- 講師:間瀬 雅彦 一級建築士・技術士(総合技術監理/建設部門)
(JRCA品質マネジメントシステム主任審査員)
- 定員:24名(定員になりましたら締め切らせていただきます)
- 会場:一般財団法人 ベターリビング
東京都千代田区富士見2-7-2 ステージビルディング7階
- 受講料:●一般 42,000円/1人(税込)
●弊センター登録組織 31,500円/1人(税込)
(テキスト代、昼食代、修了証発行料、税金を含みます)

※建築CPD情報提供制度について

建築CPD情報提供制度のCPD実績証明書は、国土交通省の官庁営繕事業に係る設計・工事監理業務の発注および建築工事等の発注に際して活用されている他、28道府県および11市において設計・工事監理業務の発注、建築工事の発注等で活用されています。

詳しくは、下記Webページをご覧ください。

■ <http://www.jaeic.or.jp/kenchikucpd.htm>

この研修会は、以下のCPD制度の共通認定プログラムです。

- 建築CPD情報提供制度 ●JIA CPD制度 ●建築士会CPD制度
 - 建築設備士関係団体CPD制度 ●APECアーキテクト ●APECエンジニア
- 2日コースを修了すると14時間の単位を取得できます。CPDS取得時間は7時間ずつのプログラムとなっていますが、2日連続の受講をお願い致します。認定項目については、下記Webページでご確認ください。

■ https://jaeic-cpd.jp/cpd_prdgt.php?PGID=00069372

■ https://jaeic-cpd.jp/cpd_prdgt.php?PGID=00069373

◎BL-QE 内部監査員研修会 開催サービス

一般財団法人 ベターリビング システム審査登録センターで開発した、内部監査員の養成、内部監査員の力量アップのためのセミナーをご要望に応じて開催いたします。参加人数が多い場合は、経済的に内部監査員の研修を実施する事も可能です。詳しくは、下記担当までお問い合わせください。

◎詳しくは、同封の申込書をご覧ください。

◎お申し込み方法:同封の申込書に必要事項を明記のうえ、ファックスでご送付ください。

◎お問い合わせ先:企画管理部企画課 担当:半田/山賀まで(TEL:03-5211-0603 E-mail:blqe-isonews@cbl.or.jp)

本誌は、弊センター登録組織から受領した「品質・環境マネジメントシステム審査登録申請書」「情報セキュリティマネジメントシステム審査登録申請書」「労働安全衛生マネジメントシステム審査登録申請書」に記載されている「申請者」宛に、発行の都度送付しております。送付業務は、効率的に一日も早くお届けできるように、弊センターから「宛名ラベル」を提供し発送を委託しております。弊センターは、発送委託業者との間における請書において、再委託業務も含めた機密保持義務を課す項目を定め管理を徹底するように努めております。今後ともこのような対応をいたします。

ISO NET (Center for Better Living) Vol.98 2014年1月10日発行
発行 一般財団法人 ベターリビング システム審査登録センター
代表者:センター長 有馬 正子
担当:企画管理部
TEL:03-5211-0603 FAX:03-5211-0594
ホームページ:<http://www.cbl.or.jp/>

